



基調講演
**「ハワイにおけるDVへの対応
 – 裁判官とDV」**
**ハワイ州最高裁判所
 サブリナ・マッケナ判事**

沖縄から
 沖縄弁護士会
 野崎聖子 弁護士

基地から
 Family Advocacy
 Intervention Specialist
 Londi Cox博士

【主催】

科研費基盤 (B) 22H03862

「児童虐待・DVにおける暴力の継続性に着目した対応（犯罪化）に関する多角的研究」

琉球大学法科大学院



【共催】

沖縄弁護士会

琉球大学ハラスメント相談支援センター

※第5回「SDGs×ロースクール」リーガル女子企画

5 ジェンダー平等を
 実現しよう



シンポジウム

「法はDVをどう扱うのか

— 沖縄、基地、そしてハワイから —

2024年3月17日（日） 14：00 – 17：00

琉球大学 文系講義棟201講義室

ウェビナー配信あり <https://us02web.zoom.us/j/83290006831>



**※本シンポジウムに先立って、13：30より
 サブリナ・マッケナ判事への琉球大学名誉博士号の
 授与式を行います。是非ご参加ください。**

日本では、DVがあった時に、DV防止法で保護命令（近づかないようにすることや、一定期間、加害者に家から出て行ってもらう等）は出せますが、犯罪として扱う場合には他の犯罪と同様に扱うので、DV特有の、加害者と被害者の支配関係等はほとんど配慮されません。加害者に対する強制的な更生プログラムもありません。さらに沖縄では、トートーメー等と関係して、DVを見逃してしまうこともあり、被害者を支援するのは難しい状況にあります。

それでは、沖縄の中であって沖縄ではない基地の中ではDVをどう扱っているのでしょうか。又、沖縄と所縁の深いハワイは、アメリカの中でもDVについて、手厚く扱っていると言われていいます。それは一体どういうことなのでしょうか。

今回のイベントでは、これらの点について、ハワイ州最高裁判事、沖縄弁護士会の弁護士、米軍基地内の専門家、それぞれの立場からお話を伺います。

申込不要・無料